

学校だより

令和7年6月2日



いちよう

目指す学校像

生徒一人一人の力が伸びる学校

新座市立第三中学校

〒352-0015 新座市池田 1-1-1

TEL (048) 479-4052 FAX 482-0133

意識改革

「一人一人が、自分から」

校長 石田 和男

今年度も、あっという間に2か月が経ちました。保護者、地域の皆様には、日頃より本校教育の推進のためにご理解ご協力いただき、感謝申し上げます。また、先月は寒暖の差が激しかったり、熱中症が心配されたりする日もありました。くれぐれもご自愛ください。

さて、100%思い通りにならなくても、きちんと状況を受け止め、その中で目一杯、明るく楽しく前向きに一生懸命取り組めるところは、三中生の素晴らしいところだと思います。『笑う門には福来たる』という諺があります。これは、「いつも明るく笑っていれば幸せがやってくる」という意味です。楽しいとき、うれしいとき、おもしろいとき、たいいていの人は笑います。でも、いつも楽しいわけではありません。悲しいとき、苦しいときだってあるのです。つまり、100%ハッピーでないときもあります。でも、そんな時、笑顔でいると、悲しみや苦しみは和らいでいきますし、周りの人も幸せな気持ちになります。逆に周りの人の笑顔で、元気も出てきます。自分から笑うことで、心の中が楽しい方のギアに傾くのだと思います。勉強や部活や行事も同じではないでしょうか。おもしろそうとか、楽しそうなどと自分から取り組んでいくと、ぐんぐん楽しくなって笑顔になります。それを見た周りもやる気が出て、そして、教室中、学校中が笑顔で楽しくなるのだと思います。今ある状況を理解し受け止め、その中で目一杯、一人一人が自分から、明るく楽しく前向きに取り組んでいきましょう！

3年生が、修学旅行(5/15～17)に、行ってきました。

今年は、大阪・関西万博が開催されるということもあり、大阪、京都への修学旅行でした。初日、最寄り駅の夢洲駅から会場に入ると、世界最大の木造建築の『大屋根リング』が見えてきて、その大きさに圧倒されます。このリングは1周2km、世界各国のパビリオン57館がリングの中に設置されています。



＜大屋根リング＞

さて、この大屋根リングは、下から見ると、2日目に訪れた人も多い京都・清水寺の舞台の下のような【貫の工法】という技法が使われています。見比べてみた人はいたかな？また、大屋根リングの上に行くと、空を手にとれるような感覚や、世界が同じ空の下に集まっている感覚にもなりました。続いて、この大屋根リングは、地球に比べると小さなエリアに158か国、世界の約8割の国が集まっていて、パビリオンという形で、その国の文化・伝統・食・ファッション等を発信しています。＜貫の工法＞



＜清水寺＞

戦争や世界が危機の時代にあって、それでも多様な文化・伝統・人々が一つの場所に集まり、つながりをもって一緒に未来を考えることの大切さや素晴らしさを伝えてくれています。そこには会場に訪れることができない人にも、「ここに世界が集まっている、ここから未来を一緒に作ろうとしている」というメッセージを感じてほしいという願いが込められています。

万博では、日本、世界を問わず、パビリオンの見学等を通して、多様な文化や価値観、最先端のテクノロジーに触れる貴重な体験となりました。3年生の皆さんが、「行って楽しかった」はもちろんですが、【知ること広がる世界】【行動が変わるきっかけ】となる体験を、将来的にどう生かしていくのが楽しみです。

55年前の大阪万博の象徴であった『太陽の塔』を、重要文化財とする動きが出てきており、大阪府は将来的に世界遺産登録を目指しています。もしかすると、3年生の皆さんが実際に万博で見た建造物が、同じような道筋をたどるかもしれません。そう考えると、わくわくしてきますね。楽しみです。＜太陽の塔＞

